



10月6日 東地申第23号

申し入れの根拠は TOKYO MAIL NEWS NO.065 をご覧ください⇒

「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ

【基本】提出!

<申し入れ項目>

1. 2022年3月ダイヤ改正後、「乗務員の業務等の見直し」や「乗務員の労働時間の算定に向けた再実測の変更」さらには「運転士による出区電車のドア開扉ならびに案内設定の取扱い」などの成果と課題を明らかにすること。
2. 各職場での2022年ダイヤ改正の課題について、社員の意見集約方法を明らかにするとともに、集約された内容を支社として次期ダイヤ改正での改善に向けた取り組みについて具体的に明らかにすること。
3. 乗務員の泊行路については、安全・安定輸送の確保や健康管理の観点から、到着点呼から起床点呼までの実質睡眠時間を運転士は6時間、車掌は5時間以上確保すること。
4. 起床点呼から出区点検終了時間及び入換信号機開通時間までの実態を把握し改善すること。
5. 運転士が出区点検時間を確保するために、実際に起床している時刻の把握を行い改善すること。
6. 乗務員の起床時刻から乗務までにかかる時間の短縮により乗務員の負担が増大していることから起床時間に対する実態を把握し改善をすること。
7. 2022年3月ダイヤ改正検証で出された各職場からの検証項目については、次期ダイヤ改正において改善をすること。